

分析結果報告書

東海技水第 20124774-004 号

令和 2 年 12 月 9 日

株式会社武田コーポレーション

様

計量証明事業 東海知事登録 第262号
一般財団法人東海技術センター
理事長 平井 隆
名古屋市名東区藤子二丁目
TEL (052) 771-5161(代) 〒465-0021

持込	(令和 2 年 11 月 30 日受入)	試料の種類・採取場所・採取日時・天候・採取者名は 依頼者のお申し出により記入しました。	
試料の種類	珪藻土バスマット (青) 11月30日持込分		
採取場所			
採取日時		天候	
採取者名			

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

分析対象	単位	分析結果	備考
1 石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考]

石綿(アスベスト)分析結果

1. 試料

珪藻土バスマット(青) 11月30日持込分

2. 分析方法

「建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第1部：市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」
(JIS A 1481-1:2016)に示された偏光顕微鏡(PLM)による方法に準じて実施した。

3. 分析実施日

令和2年12月4日

4. 分析者

石川 輝之

5. 分析結果

試料	アスベストの種類及び 推定含有率(%)	非アスベスト繊維	コメント
珪藻土バスマット(青) 11月30日持込分 緑色非繊維状材料、白色半透明繊維状材料	無検出	セルロース	特になし

注記1 分析対象アスベスト種はクリソタイル、アモサイト、クロソドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライトとした。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

- ①無検出
- ②検出
- ③0.1%～5%
- ④5%～50%
- ⑤50%～100%

注記3 報告区分”検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 ”アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を別添に示す。

注記5 実体顕微鏡：アズワン SZM-B-NOM(照明付)

注記6 偏光顕微鏡：ニコン ECLIPSE LV100ND

分析結果報告書

東海技水第 20124774-005 号

令和 2 年 12 月 9 日

株式会社武田コーポレーション

様

計量証明事業 東海知事登録 第262号
一般財団法人東海技術センター
理事長 平井 長雄
名古屋市東区平井一丁目1番地
TEL(052)771-5161(代) 〒465-0021

持込	(令和 2 年 11 月 30 日受入)	試料の種類・採取場所・採取日時・天候・採取者名は 依頼者のお申し出により記入しました。	
試料の種類	珪藻土バスマット (大理石風) 11月30日持込分		
採取場所			
採取日時		天候	
採取者名			

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

分析対象	単位	分析結果	備考
1 石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考]

石綿(アスベスト)分析結果

1. 試料

珪藻土バスマット(大理石風) 11月30日持込分

2. 分析方法

「建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第1部：市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」
(JIS A 1481-1:2016)に示された偏光顕微鏡(PLM)による方法に準じて実施した。

3. 分析実施日

令和2年12月4日

4. 分析者

石川 輝之

5. 分析結果

試料	アスベストの種類及び 推定含有率(%)	非アスベスト繊維	コメント
珪藻土バスマット(大理石風) 11月30日持込分 白色非繊維状材料、白色半透明繊維状材料	無検出	セルロース	特になし

注記1 分析対象アスベスト種はクリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソファイトとした。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

- ①無検出
- ②検出
- ③0.1%～5%
- ④5%～50%
- ⑤50%～100%

注記3 報告区分”検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 ”アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を別添に示す。

注記5 実体顕微鏡：アズワン SZM-B-NOM(照明付)

注記6 偏光顕微鏡：ニコン ECLIPSE LV100ND

分析結果報告書

東海技水第 20124774-003 号

令和 2 年 12 月 9 日

株式会社武田コーポレーション

様

計量証明事業 東海知事登録 第262号
一般財団法人東海技術センター
理事長 長平 邦雄
名古屋市名東区兼子一丁目番地
TEL (052) 771-5161(代) 〒465-0021

持込	(令和 2 年 11 月 30 日受入)	試料の種類・採取場所・採取日時・天候・採取者名は 依頼者のお申し出により記入しました。	
試料の種類	珪藻土コースター (白) 11月30日持込分		
採取場所			
採取日時		天候	
採取者名			

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考]

石綿(アスベスト)分析結果

1. 試料

珪藻土コースター(白) 11月30日持込分

2. 分析方法

「建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第1部：市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」(JIS A 1481-1:2016)に示された偏光顕微鏡(PLM)による方法に準じて実施した。

3. 分析実施日

令和2年12月4日

4. 分析者

石川 輝之

5. 分析結果

試料	アスベストの種類及び 推定含有率(%)	非アスベスト繊維	コメント
珪藻土コースター(白) 11月30日持込分 白色非繊維状材料、白色半透明繊維状材料	無検出	セルロース	特になし

注記1 分析対象アスベスト種はクリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライトとした。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

①無検出

②検出

③0.1%～5%

④5%～50%

⑤50%～100%

注記3 報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を別添に示す。

注記5 実体顕微鏡：アズワン SZM-B-NOM(照明付)

注記6 偏光顕微鏡：ニコン ECLIPSE LV100ND

分析結果報告書

東海技水第 20124774-002 号

令和 2 年 12 月 9 日

株式会社武田コーポレーション

様

計量証明事業 令和県知事登録 第262号
一般財団法人東海技術センター
理事長 長平 貴
名古屋市名古屋区錦三丁目 建設省
TEL (052) 771-5151(代) 〒465-0021

持込 (令和 2 年 11 月 30 日受入)		試料の種類・採取場所・採取日時・天候・採取者名は 依頼者のお申し出により記入しました。	
試料の種類	珪藻土コースター (青) 11月30日持込分		
採取場所			
採取日時		天候	
採取者名			

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

分析対象	単位	分析結果	備考
1 石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考]

石綿(アスベスト)分析結果

1. 試料

珪藻土コースター(青) 11月30日持込分

2. 分析方法

「建材製品中のアスベスト含有率測定方法—第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」(JIS A 1481-1:2016)に示された偏光顕微鏡(PLM)による方法に準じて実施した。

3. 分析実施日

令和2年12月4日

4. 分析者

石川 輝之

5. 分析結果

試料	アスベストの種類及び推定含有率(%)	非アスベスト繊維	コメント
珪藻土コースター(青) 11月30日持込分 青色非繊維状材料、白色半透明繊維状材料	無検出	セルロース	特になし

注記1 分析対象アスベスト種はクリソタイル、アモサイト、クロソドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソファイトとした。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。なお、この区分は概数であつて、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

- ①無検出
- ②検出
- ③0.1%～5%
- ④5%～50%
- ⑤50%～100%

注記3 報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であつたおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を別添に示す。

注記5 実体顕微鏡：アズワン SZM-B-NOM(照明付)

注記6 偏光顕微鏡：ニコン ECLIPSE LV100ND

分析結果報告書

東海技水第 20124774-001 号

令和 2 年 12 月 9 日

株式会社武田コーポレーション

様

計量証明事業 東海知事登録 第262号
一般財団法人東海技術センター
理事長 長平 邦博
名古屋市名東区箱田二丁目1番地
TEL (052) 771-8161(代) 〒465-0021

持込	(令和 2 年 11 月 30 日受入)	試料の種類・採取場所・採取日時・天候・採取者名は 依頼者のお申し出により記入しました。	
試料の種類	珪藻土傘立て 11月30日持込分		
採取場所			
採取日時		天候	
採取者名			

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

分析対象	単位	分析結果	備考
1 石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考]

石綿(アスベスト)分析結果

1. 試料

珪藻土傘立て 11月30日持込分

2. 分析方法

「建材製品中のアスベスト含有率測定方法—第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」(JIS A 1481-1:2016)に示された偏光顕微鏡(PLM)による方法に準じて実施した。

3. 分析実施日

令和2年12月4日

4. 分析者

石川 輝之

5. 分析結果

試料	アスベストの種類及び 推定含有率(%)	非アスベスト繊維	コメント
珪藻土傘立て 11月30日持込分 白色非繊維状材料、白色半透明繊維状材料	無検出	セルロース	特になし

注記1 分析対象アスベスト種はクリソタイル、アモサイト、クロソドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライトとした。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

①無検出

②検出

③0.1%～5%

④5%～50%

⑤50%～100%

注記3 報告区分”検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 ”アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を別添に示す。

注記5 実体顕微鏡：アズワン SZM-B-NOM(照明付)

注記6 偏光顕微鏡：ニコン ECLIPSE LV100ND